

主要な特用林産物の令和４年の生産動向

区 分			生産量 (トン)		生産額 (億円)		主要な生産地	備 考
				対前年比		対前年比		
食 用	きのこ類	乾しいたけ	2,034 (14,241)	91.8%	86	97.2%	大分、宮崎、熊本、愛媛、岩手	
		生しいたけ	69,532	97.9%	684	106.2%	徳島、岩手、北海道、秋田、群馬	
		うち原木栽培	4,328	86.9%	43	94.3%	静岡、鹿児島、群馬、茨城、大分	
		うち菌床栽培	65,204	98.7%	642	107.1%	徳島、岩手、北海道、秋田、群馬	
		な め こ	23,738	98.6%	104	107.0%	長野、新潟、山形、福島、北海道	
		えのきたけ	126,321	97.5%	303	104.4%	長野、新潟、宮崎、福岡、長崎	
		ひらたけ	4,501	100.9%	24	79.1%	新潟、福岡、長野、茨城、三重	
		ぶなしめじ	122,840	102.8%	477	99.7%	長野、新潟、福岡、香川、三重	
		まいたけ	56,763	104.1%	351	88.5%	新潟、静岡、福岡、三重、長野	
		エリンギ	37,798	98.6%	174	95.3%	長野、新潟、広島、福岡、北海道	
		まつたけ	35	89.7%	17	105.8%	長野、岩手、和歌山、石川、岡山	
		きくらげ類	2,997	98.9%	33	98.9%	山口、大分、茨城、鳥取、熊本	
		そ の 他	2,123	114.5%	18	118.7%	京都、北海道、長野、富山、群馬	
		小 計	460,890	99.8%	2,270	99.9%		
	く り	15,600	99.4%	139	128.4%	茨城、熊本、愛媛、岐阜、長野		
	たけのこ	21,798	109.4%	49	130.4%	福岡、鹿児島、京都、熊本、石川		
	わ さ び	1,635	86.7%	39	133.0%	長野、静岡、岩手、高知、島根		
	そ の 他	10,021	93.3%	61	103.6%		わさび以外の山菜及び薬草	
	計	509,945	99.9%	2,557	102.1%			
	非 食 用	木材等	うるし	1,766	86.7%	1	87.1%	岩手、茨城、福島、長野、新潟
竹材			828	90.4%	14	89.3%	鹿児島、熊本、大分、岡山、高知	
桐材			230	123.0%	0	133.3%	福島、群馬	
木炭			11,882	102.9%	16	98.8%	岩手、島根、高知、岐阜、和歌山	
竹炭			426	92.8%	3	92.5%	福岡、鳥取、徳島、千葉、熊本	
木酢液			1,689	98.9%	3	98.9%	岩手、宮崎、熊本、静岡、福島	
竹酢液			190	99.0%	1	79.2%	香川、熊本、徳島、佐賀、愛媛	
薪			91,516	99.7%	29	107.4%	長野、北海道、鹿児島、福島、高知	
その他			2,891	94.8%	34	97.0%		木ろう、つばき油、竹皮、しきみ、さかき
計					101	98.5%		
合計				2,658	101.9%			

注) 1 乾しいたけの生産量の括弧書きは、生換算値であり、きのこ類の生産量小計には、この数値を用いている。

2 うるしはkg、竹材は千束、桐材は㎡、木酢液・竹酢液はkl、薪は層積㎡である。

3 木炭の生産量は、白炭、黒炭、粉炭の合計である。

4 計が一致しない部分は、四捨五入によるものである。

5 生産量は、主に都道府県林務担当課からの報告の集計（集計期間：令和４年1月～12月）である。

6 生産額は、それぞれの生産量に東京都中央卸売市場等の卸売価格、都道府県の生産者出荷価格等を乗じた推計値である。

7 主要な生産地は、生産量の上位5都道府県（桐材は2都道府県）を掲載している。

【参考】主要な特用林産物の需給・生産量の推移

1. 乾しいたけの需給表

単位:トン

区 分	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
生産量	2,635	2,414	2,302	2,216	2,034
前年比	104%	92%	95%	96%	92%
輸入量	4,998	4,869	4,354	4,575	4,596
輸出量	24	33	33	41	36
消費量	7,609	7,250	6,623	6,750	6,594
輸入割合(%)	66%	67%	66%	68%	70%

2. 生しいたけの需給表

単位:トン

区 分	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
生産量	69,754	71,071	70,280	71,058	69,532
前年比	101%	102%	99%	101%	98%
輸入量	1,942	1,835	1,785	1,988	2,262
輸出量	...	...	...	...	14
消費量	71,696	72,906	72,065	73,046	71,780
輸入割合(%)	3%	3%	2%	3%	3%

3. なめこの生産量

単位:トン

区 分	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
生産量	22,809	23,285	22,835	24,063	23,738
前年比	99%	102%	98%	105%	99%

4. えのきたけの生産量

単位:トン

区 分	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
生産量	140,038	128,974	127,914	129,587	126,321
前年比	103%	92%	99%	101%	97%

5. ひらたけの生産量

単位:トン

区 分	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
生産量	4,001	3,862	3,824	4,463	4,501
前年比	105%	96%	99%	117%	101%

6. ぶなしめじの生産量

単位:トン

区 分	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
生産量	117,916	118,597	122,802	119,545	122,840
前年比	100%	101%	104%	97%	103%

7. まいたけの生産量

単位:トン

区 分	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
生産量	49,670	51,108	54,993	54,521	56,763
前年比	104%	103%	108%	99%	104%

8. エリンギの生産量

単位:トン

区 分	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
生産量	39,413	37,635	38,500	38,344	37,798
前年比	101%	95%	102%	100%	99%

9. まつたけの需給表

単位:トン

区 分	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
生産量	56	14	32	39	35
前年比	311%	25%	229%	122%	90%
輸入量	798	849	630	524	408
輸出量	...	...	...	...	0
消費量	854	863	661	563	443
輸入割合(%)	93%	98%	95%	93%	92%

10. きくらげ類の需給表

単位:トン

区 分	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
生産量	2,309	2,315	3,132	3,031	2,997
前年比	135%	100%	135%	97%	99%
輸入量	26,696	25,320	23,188	22,058	24,882
輸出量	46	89	14	66	76
消費量	28,959	27,546	26,306	25,023	27,803
輸入割合(%)	92%	92%	88%	88%	89%

11. その他きのこの生産量

単位:トン

区 分	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
生産量	2,229	1,927	1,851	1,854	2,123
前年比	106%	86%	96%	100%	115%

12. たけのこの需給表

単位:トン

区 分	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
生産量	25,364	22,285	26,449	19,917	21,798
前年比	108%	88%	119%	75%	109%
輸入量	167,868	157,296	142,544	149,780	153,619
消費量	193,232	179,581	168,993	169,697	175,417
輸入割合(%)	87%	88%	84%	88%	88%

13. 木炭の需給表

単位:トン

区 分	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
生産量	21,711	21,321	19,759	17,165	17,081
前年比	94%	98%	93%	87%	100%
輸入量	119,444	123,211	107,200	97,993	103,606
輸出量	442	460	451	272	211
消費量	140,713	144,072	126,508	114,886	120,476
輸入割合(%)	85%	86%	85%	85%	86%

出典:生産量は農林水産省『令和4年特用林産生産統計調査』、輸出入量は財務省『貿易統計』による。

注)1 きくらげ類の輸入量は「輸入量×10」により、生きくらげに換算して計上した。

2 たけのこの輸入量は、「輸入量×2.364」により、生たけのこに換算して計上した。

3 木炭の輸入量は竹炭、オガ炭を含むため、生産量にも竹炭、オガ炭を含めている。

4 消費量は、生産量+輸入量-輸出量である。

5 計が一致しない部分は、四捨五入による。